

中学生版 ブックリスト

ビーだま

2014 年 No.37

<編集・発行>

富山市立図書館

富山市丸の内 1 丁目 4-50

電話 076-432-7273

平成 27 年 4 月 23 日発行

(年 2 回発行)

2014 年 7 月～12 月に図書館に入った本の中から、
とくにおすすめの本を紹介します。

時速 47 メートルの疾走

吉野万理子/著 講談社



秀才の慶一^{けいいち}は、何事もそつなくこなす反面、物事に一生懸命打ち込むことがない。親の顔色をうかがい、言い訳ばかり考える自分を持てあましていた。そんなある日、クラスで体育祭の応援団長を決めることになる。

ジャンケンで応援団長に決まった文化部の町平^{まちひら}は、不似合いな役目を淡々と引き受けた。応援団長をやりたくても言い出せなかった慶一^{あこが}は、その姿に憧れ、自分が中途半端^{ちゅうはんぱ}であることを思い知る。しかし町平にも、ある思いがあった。

片目の青

陣崎草子/著 講談社



ある日、真矢^{しんや}は山で転落してしまうが、犬の吠え声で近くの人が気付き、命を助けられる。真矢を助けた犬は、片目に大きな傷があり、野犬のボスのような風格をしていた。学校生活に息づまりを感じていた真矢は、片目の犬に魅^ひかれ、何度も山に入るようになる。

そんな時、登山客が野犬にかまれる事件が発生した。野犬を駆除^{くじょ}する計画があがり、実行される日が近づく。



風味さんじゅうまる

まはら三桃/著 講談社

中学二年の風味^{ふうみ}の家は、老舗^{しにせ}の和菓子屋「一斗飴^{いっとうあん}」を営んでいる。仕事に誠実な父や祖母が支えるこの店に、スイーツコンテストへ新製品を出す話が舞いこんだ。

時を同じくして、和菓子職人を目指して修行中だった兄、北斗^{ほくと}が逃げ帰ってくる。北斗も協力した新製品の開発が行きづまるなか、風味たちは、亡き祖父が「新しい幻^{まぼろし}のお菓子をつくる」と張り切っていたことを思い出す。



ユキとヨンホ 白磁にみせられて

中川なをみ/作 舟橋全二/絵 新日本出版社

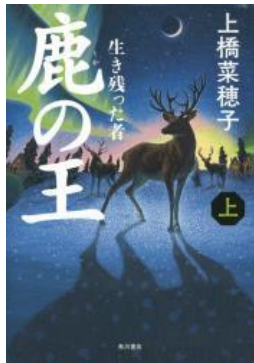
ユキは、戦国時代に九州で生まれた。裕福な商人だった中国人の父と生き別れ、廻船問屋^{かいせんどんや}で商品を仕入れる仕事にはげんでいる。

ある時、ユキは、豊臣秀吉の軍によって、朝鮮から連れてこられた陶工^{とうこう}たちの焼き物に目をつける。通訳のヨンホと親しくなり、日本ではまだ作られていない白い磁器^{じき}の誕生を夢見るが、そこには陰しい道のりが待っていた。



鹿の王 上・下

上橋菜穂子/著 KADOKAWA



ヴァンは、一族の敗戦で奴隷となり、岩塩鉱^{がんえんこう}で働かされていた。ある日、数頭の犬が人々を襲い、かまれた者は皆、発病して死んでしまう。一命をとりとめたヴァンは、死んだ仲間が残した女兒を連れて、逃走する。

のちに岩塩鉱を訪れた医師のホッサルは、犬が何らかの病原菌^{びょうげんきん}を持っていたことに注目する。その病気は、恐ろしい復讐劇^{ふくしゅうげき}の幕開けをつげるものだった。



タイムライダーズ 1・2

アレックス・スカロウ/作 金原瑞人・樋渡正人/訳 小学館

ときは、1912 年の大西洋。沈没する寸前のタイタニック号の中で、リアムは謎の老人に助けられる。リアムが次に目を覚ましたのは、2001 年のニューヨークだった。

老人はフォスターと名乗り、リアムと二人の少女をタイムライダーズに採用したと告げる。リアムたちは、タイムトラベルで過去の歴史を変えようとする者を取りしめるべく、それぞれの時代から集められたのだった。



偽りの王子 カーシア国三部作 1

ジェニファー・A・ニールセン/作 橋本恵/訳 ほるぷ出版



孤児院に暮らしているセージは、ある計画のため、貴族のコナーにその身を買われた。計画とは、何年も行方不明のジャロン王子と偽って、孤児に王座を奪わせるというものだ。

集められた4人の孤児から、身代わりの王子として認められるのはただ一人。他の者は殺されるという。セージは生きのびるため、王子としてふるまう特訓に参加する。

真夜中の電話 ウェストール短篇集

ロバート・ウェストール/作 原田勝/訳 宮崎駿/装画 徳間書店



ハリーは、20 年間、ボランティアで悩み相談の電話を受けていた。ある年のクリスマス・イヴ、ハリーが病気になり、若い夫婦が担当を代わることになる。真夜中にかかってきた電話に出ると、「夫に殺されてしまう」と、女性の声が聞こえた。

イギリス児童文学を代表する作家、ロバート・ウェストールの全短編から、九編の作品を収める。



トマス・ジェファソン 本を愛し、集めた人 (えほん)

バーブ・ローゼンストック/文 ジョン・オブライエン/絵 渋谷弘子/訳 さ・え・ら書房

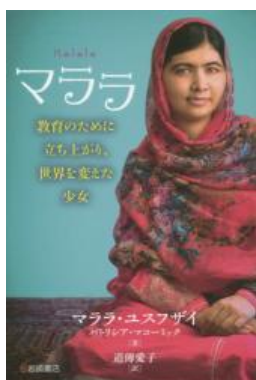
アメリカ合衆国の独立宣言を作り、第三代大統領になったトマス・ジェファソンは、大の本好きでもあった。彼は、どんな苦労や費用も惜しまず、あらゆる分野の本を買い集めた。その一部の 6500 冊は、火事にあったアメリカ議会図書館に送られ、図書館が生まれ変わる基礎となった。

本を愛し、集め続けた人生を、トマスの遺した言葉やエピソードを交えて、ユーモラスな絵でつづる。



マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女

マララ・ユスフザイ パトリシア・マコーミック/著 道傳愛子/訳 岩崎書店



2012 年 10 月、15 歳だったマララは、イスラム武装勢力タリバンによって銃撃を受けた。タリバンが女性一人での外出や、女子の教育を禁止する中、学校に通う権利について積極的に発言していたためだ。

彼女が銃撃されるまでの体験や、奇跡的な回復をとげたあとを、書きおろしの手記としてまとめた一冊。マララは 2014 年、史上最年少でノーベル平和賞を受賞した。